

避難の方法

台風・豪雨

あなたの
おうち、
どっちが安全？

「避難所に行く」 ほうが安全

ポクハドッチ？



「家にいる」 ほうが安全

土砂災害の
ハザードエリアの例



避難所までのルートは
早く危険なエリアの外に出る
ルートを選んでおきましょう



あなたの避難行動

土砂災害

レッドゾーン
家屋が
倒壊する
危険あり

ハイリスクエリア
1階窓から
土砂が
流れ込む
危険あり

イエローゾーン
床下まで
土砂が
くる
危険あり

あなたの避難行動

避難所に避難
避難所に行って
ください。

① 暗くなる前に！
② 風雨が強くなる
前に！

**屋内で安全確保
(2階以上)**
外出せず、2階以上で
ガケ・山・川から離れた
部屋にいてください。

※暴風雨のなか絶対に外に出ない！

浸水害

危険度3
2階まで
浸水する
危険あり

危険度2
床上浸水
の危険あり

危険度1
床下浸水の
危険あり

浸水害の
ハザードエリアの例



「屋内で安全確保」の対象の
かたも、ハザードエリア外に
お住まいの方も、避難所に避難
することができます。

遠慮なく避難所へ
お越しください

① 暗くなる前に！
② 風雨が強くなる前に！

市からのお知らせ
(避難情報)が出たら

「高齢者等避難」が発令されたら、「避難所に避難」の対象の世帯では、

- 高齢者・障害者・小さな子ども連れのかたなどは、すぐに避難所に避難を開始してください。
- 通常の避難行動ができるかたは、避難の準備をしてください。(「避難指示」の発令で避難を開始)

ハザードエリア外 不要不急の外出はせず、家の中にいてください。 ハザードエリア外

避難にあたっての基本的な考え方

- ・ハザードエリア外にお住まいのかたは、不要不急の外出はせず、家の中にいてください。
- ・避難とは、「難」を「避」けることです。安全な場所にお住まいの方まで避難場所に行く必要はありません。
- ・ハザードエリア内にお住まいの場合、家が安全なら、外に出るほうがむしろ危険です。
- ・避難先は、小中学校等の避難所だけではありません。「避難」のための移動がかえって危険であると判断される場合は、安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。